【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第１区分
【発行日】令和5年10月6日(2023.10.6)

【国際公開番号】WO2022/185573
【出願番号】特願2023-503350(P2023-503350)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｒ 13/24(2006.01)
Ｈ０１Ｒ 4/48(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｒ 13/24
Ｈ０１Ｒ 4/48 Ｃ

【手続補正書】
【提出日】令和4年1月18日(2022.1.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
相手方端子部材と電気的に接続可能な端子モジュールであって、
弾性変形可能なコイルスプリングと、
前記コイルスプリングを収容するケースと、
前記ケースに取り付けられる端子部材と、を備え、
前記コイルスプリングは、第１端部と、前記第１端部の反対側に配置されている第２端部と、を有し、
前記ケースは、前記コイルスプリングの前記第１端部と接触する天井壁と、前記天井壁から前記コイルスプリングの前記第２端部の側に向かって延びるとともに互いに対向している一対の側壁と、を有し、
前記端子部材は、前記一対の側壁に取り付けられるとともに前記一対の側壁に対して相対移動可能である第１端子を有し、
前記一対の側壁の各々は、前記天井壁に連なる側壁基部と、前記側壁基部に連なる第１分割壁部と、前記側壁基部に連なるとともに前記第１分割壁部から離隔している第２分割壁部と、を有し、
前記第１分割壁部は、前記コイルスプリングに押圧されている前記第１端子を受け止め可能な第１端子受け部を有し、
前記第２分割壁部は、前記コイルスプリングに押圧されている前記第１端子を受け止め可能な第２端子受け部を有し、
前記第１端子は、前記コイルスプリングの前記第２端部に押圧される第１面と、前記第１面の反対側に配置されている第２面と、前記第１分割壁部に対して摺動可能な被ガイド部と、前記第１分割壁部と係合可能な第１係合部と、前記第２分割壁部と係合可能な第２係合部と、を有し、
前記一対の側壁の各々に設けられている前記第１分割壁部の全体は、互いに平行であり、前記側壁基部と平行な方向に延び、
前記一対の側壁の各々に設けられている前記第２分割壁部の全体は、互いに平行であり、前記側壁基部と平行な方向に延び、
前記第１端子は、第１位置と、前記第１位置とは異なる第２位置と、を可逆的に取ることが可能であり、

前記第１位置において、
前記第１面は、前記コイルスプリングによって押圧されており、
前記被ガイド部は、前記第１分割壁部と前記第２分割壁部との間に配置されており、
前記第１係合部は、前記第１端子受け部と係合しており、
前記第２係合部は、前記第２端子受け部と係合している、
端子モジュール。
【請求項２】
前記第１端子は、前記ケースの前記一対の側壁と少なくとも一部が対向する一対の側面を有し、
前記被ガイド部は、前記一対の側面から突出しており、
前記第１係合部は、前記一対の側面から突出しており、
前記第２係合部は、前記一対の側面から突出している、
請求項１に記載の端子モジュール。
【請求項３】
前記第１係合部は、前記一対の側面の各々から突出しており、
前記第２係合部は、前記一対の側面の各々から突出している、
請求項２に記載の端子モジュール。
【請求項４】
前記第１端子は、前記第２係合部よりも前記被ガイド部の側に配置される第１端子端部を有し、
前記第１係合部は、前記第１端子端部に配置されている、
請求項１から請求項３のいずれか１項に記載の端子モジュール。
【請求項５】
前記第１分割壁部は、前記側壁基部に連なる第１基部と、前記第１基部から前記第２分割壁部の反対側に向かって延びる第１延在部と、を有し、
前記第１端子受け部は、前記第１延在部に配置されており、
前記第１係合部は、前記天井壁の側から前記第１端子受け部と係合している、
請求項１から請求項４のいずれか１項に記載の端子モジュール。
【請求項６】
前記第２分割壁部は、前記側壁基部と連なる第２基部と、前記第２基部から前記第１分割壁部の反対側に向かって延びる第２延在部と、を有し、
前記第２端子受け部は、前記第２延在部に配置されており、
前記第２延在部は、前記天井壁の反対側に向かうにつれて前記第１分割壁部の側に近づくように傾斜する第２傾斜部を有し、
前記第２端子受け部は、前記第２傾斜部よりも前記天井壁に近い、
請求項１から請求項５のいずれか１項に記載の端子モジュール。
【請求項７】
前記第１端子は、前記コイルスプリングの前記第２端部と接触する第１部分と、前記第１部分に連なるとともに前記ケースの前記天井壁の側に向かって延在する第２部分と、を有し、
前記第１係合部は、前記第１部分に配置されており、
前記第２係合部は、前記第２部分に配置されており、
前記第２端子受け部は、前記第１端子受け部よりも前記天井壁に近い、
請求項１から請求項６のいずれか１項に記載の端子モジュール。
【請求項８】
前記第１位置における前記第１端子は、前記相手方端子部材に設けられている突状部により前記第２面が押圧されて前記第１端子の前記被ガイド部が前記ケースの前記第１分割壁部に摺動することで前記第２位置を取ることが可能であり、
前記第２位置における前記被ガイド部の位置は、前記第１位置における前記被ガイド部の位置よりも前記天井壁に近く、且つ、前記コイルスプリングの前記第１端部と前記コイ

ルスプリングの前記第２端部とが並ぶ方向と前記一対の側壁が対向する方向とに直交する方向において前記第２端子受け部に近い、

請求項１から請求項７のいずれか１項に記載の端子モジュール。